



議会運営委員会視察(二木 孝之議員分)						
視察期間	平成29年5月15日・16日					
視察先	青森県 八戸市					
視察目的	議会運営の活性化及びタブレット端末の活用について					
視察先	岩手県 久慈市					
視察目的	災害対策連絡協議会等について					
日 付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金 額	備 考
5月15日	天神山	東伏見駅北口	西武バス	1	175	
	東伏見	高田馬場	西武新宿線	13.3	237	
	高田馬場	東京	JR山手線	14.4	8,650	団体割引乗車券
	東京	八戸	新幹線JR	631.9	6,680	特急券・座席指定券 東京-八戸
	八戸	久慈	JR八戸線	64.9	0	団体割引乗車券に含む
5月16日	久慈	八戸	JR八戸線	64.9	9,610	
	八戸	東京	新幹線JR	631.9	6,680	特急券・座席指定券 八戸-東京
	東京	高田馬場	JR山手線	14.4	0	上記の乗車券に含む
	高田馬場	東伏見	西武新宿線	13.3	237	
	東伏見駅北口	天神山	西武バス	1	175	
小 計					32,444	
日 当	2,500 円 × 2 日				5,000	
宿泊費	11,020 円 × 1 日				11,020	(1泊2食付き)
合 計					48,464	





様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

1 金 額 824 円

2 支 払 先 西武バス、西武鉄道

3 件 名 青森県八戸市・岩手県久慈市行政視察 (交通費)

4 支払年月日 平成29年 5月15日～16日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 民進党西東京

代 表 者 森 信一

印



# 平成 29 年度 議会運営委員会 行政視察（同行参加）報告書

報告者：二木孝之

1 日目：平成 29 年 5 月 15 日

視察先：青森県八戸市

テーマ：議会運営の活性化及びタブレット端末のかつようについて

2 日目：平成 29 年 5 月 16 日

視察先：岩手県久慈市

テーマ：災害対策連絡協議会等について

参加者（議会運営委員会視察に同行）：二木孝之

## 【1 日目の視察報告】

タブレット端末導入の経緯については、印刷経費などのコスト削減及び事務効率化、省力化の観点から議員に配布している会議資料や冊子などの紙資料を減らすペーパーレス化を図るとともに、議員への情報伝達の迅速化、インターネット活用による政務調査活動の充実を図るためタブレット端末を導入することとしたとのこと。

月額通信料については、1/2 は公費負担、1/2 は政務活動費で負担とのこと。

導入の効果については、紙使用量の削減、会議開催通知等の事務の改善、情報伝達の迅速化、会議システムで所属委員会以外の各会議資料が閲覧できるなど政務調査活動の充実などがある。

デメリットとしては、会議資料に速やかにメモをすることが紙資料と比較すると容易ではない。

今後の課題については、予算書・議案書は前年度とのみくらべをすることからなくせない。会議システムの改善、会派控室へのアクセスポイントの設置などが示された。

## 【2日目の視察報告】

久慈市議会災害時対応マニュアルをお示しいただき、災害時にチーム議会としてできることは何なのか、東日本大震災と平成28年台風10号の二度の災害からの教訓を学ばせていただいた。

人口3万5,909人の久慈市は、東日本大震災で1,248棟の建物被害があり、議員は個人プレーが多く、災害対策の特別委員会を設置しても、実質的に動けなかったとのこと。その後、議員の災害時対応マニュアルを策定、災害時、市の災害対策本部に協力するため、市議会災害対策連絡会議を設置することを決めました。その後、平成28年8月29日から31日にかけて久慈市を襲った台風第10号によって市街地は冠水、山間部も道路が寸断し、被災した家屋は東日本大震災を上回る2,445棟。久慈市議会は災害時対応マニュアルに基づき、市議会災害対策連絡会議を設置、24名の議員を5班体制とし、くまなく歩いて現地調査を行いました。市の職員が回るよりも議員と住民とのつながりによりスムーズに状況を把握することができ、多数で道路分断が起こるもう回路を議員が把握していることから、こっちの脇道から抜けられると職員が助けられたこともあったとのこと。議員全員が所有しているタブレットにより、被害状況をタブレットで撮影し、Googleフォトを活用して瞬時に災害対策本部に集約され、被害状況の把握ができたとのことでありました。5班による現地調査後、議員間で情報を共有し、議会として緊急要望事項を市長に提出、これにより執行部も素早い対応がとれたとのことでありました。

# 第79回全国都市問題会議 二木 孝之議員 旅費

期 間 平成29年11月8日(水)～10日(金)

会 場 沖縄県 那覇市 沖縄県立武道館

会議名 「第79回全国都市問題会議」

日 付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金 額	備 考
11月8日	天神山	東伏見	西武バス	1	175	
	東伏見	高田馬場	西武新宿線	13.3	237	
	高田馬場	品川	JR山手線	13.3	194	
	品川	羽田空港 国内線ターミナル	京急本線	14.5	407	
	羽田空港	那覇空港	JAL907便	1687.0	16,390	京王観光
	那覇空港	牧志駅	ゆいレール	7.7	300	宿舎へ前泊
	1日目 合計			1736.8	17,703	
11月9日	牧志駅	壺川駅	ゆいレール	3.1	260	全国都市問題会議(1日目)会場
	壺川駅	牧志駅	ゆいレール	3.1	260	"
	2日目 合計			6.2	520	
11月10日	牧志駅	壺川駅	ゆいレール	3.1	260	全国都市問題会議(2日目)会場
	壺川駅	那覇空港	ゆいレール	4.6	260	
	那覇空港	羽田空港	JAL918便	1687.0	22,790	京王観光
	羽田空港 国内線ターミナル	品川	京急本線	14.5	407	
	品川	高田馬場	JR山手線	13.3	194	
	高田馬場	東伏見	西武新宿線	13.3	237	
	天神山	東伏見	西武バス	1	175	
	3日目 合計			1736.8	24,323	
<b>合 計 (距離・交通費)</b>				<b>3479.8</b>	<b>42,546</b>	(直行・直帰)
日 当	2,500 円 × 3 日			7,500	(職員)	
食料料	夕食費 1,800 円 × 2 食			3,600		
宿泊費	(1泊朝食付き) 10,600 円 × 2 泊			21,200	京王観光	
<b>旅 費 合 計</b>					<b>74,846</b>	
<b>参加費 (負担金)</b>					<b>10,000</b>	負担金は別途



# 第79回全国都市問題会議 森 信 一 議員 旅費

期 間 平成29年11月8日(水)～10日(金)

会 場 沖縄県 那覇市 沖縄県立武道館  
 会議名 「第79回全国都市問題会議」

日 付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金 額	備 考
11月8日	北芝久保	田無駅	はなバス	2.6	150	
	田無	高田馬場	西武新宿線	15.6	237	
	高田馬場	品川	JR山手線	13.3	194	
	品川	羽田空港 国内線ターミナル	京急本線	14.5	407	
	羽田空港	那覇空港	JAL907便	1687.0	16,390	京王観光
	那覇空港	牧志駅	ゆいレール	7.7	300	宿舎へ前泊
	1日目 合計				1740.7	17,678
11月9日	牧志駅	壺川駅	ゆいレール	3.1	260	全国都市問題会議(1日目)会場
	壺川駅	牧志駅	ゆいレール	3.1	260	"
	2日目 合計				6.2	520
11月10日	牧志駅	壺川駅	ゆいレール	3.1	260	全国都市問題会議(2日目)会場
	壺川駅	那覇空港	ゆいレール	4.6	260	
	那覇空港	羽田空港	JAL918便	1687.0	22,790	京王観光
	羽田空港 国内線ターミナル	品川	京急本線	14.5	407	
	品川	高田馬場	JR山手線	13.3	194	
	高田馬場	田無	西武新宿線	15.6	237	
	北芝久保	田無駅	はなバス	2.6	150	
	3日目 合計				1740.7	24,298
<b>合 計 (距離・交通費)</b>				<b>3487.6</b>	<b>42,496</b>	(直行・直帰)
日 当	2,500 円 × 3 日				7,500	
食 事 料	夕食費 1,800 円 × 2 食				3,600	
宿 泊 費	(1泊朝食付き) 10,600 円 × 2 泊				21,200	京王観光
<b>合 計</b>					<b>74,796</b>	
<b>参加費 (負担金)</b>					<b>10,000</b>	負担金は別途

# 領収書添付用紙

経費項目 \*該当費目に○をつけてください。

整理番号 2-1

調査研修費		【内容説明欄】 「第79回全国都市問題会議」 (京王観光 支払い分、会議参加費領収書)
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】 ※ 領収書等は裏面にも添付

領収証 Receipt No. 05C-031216 G000210070

民進党西東京様

領収金額 ¥120,760-

但し、宿泊・航空券代金として

領収内訳 現金 120,760円

京王観光株式会社

取扱窓口 立川支店 TEL: 042-525-3991

郵印のものは無効です

# 会議参加費領収書

森 信一 様

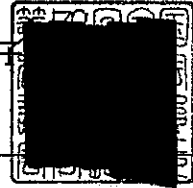
金 10,000 円

但、「第79回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

平成29年11月 日

第79回全国都市問題会議実行委員会

会 長 城 間 幹 子



# 会議参加費領収書

二本 寿之 様

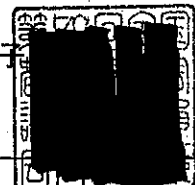
金 10,000 円

但、「第79回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

平成29年11月 日

第79回全国都市問題会議実行委員会

会 長 城 間 幹 子





【明細書】

受付番号 315 - 8 [REDACTED]

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
			個人合計	¥10,000

受付番号 315 - 9 森 信一 様

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
			個人合計	¥10,000

受付番号 315 - 10 二木、孝之 様

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
			個人合計	¥10,000

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 6,682 円
- 2 支 払 先 ななバス、西武バス、西武鉄道、JR、  
京急電鉄、ゆいレール
- 3 件 名 第79回全国都市問題会議 (森・二木 交通費)
- 4 支払年月日 平成29年 11月8日～10日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 民進党西東京  
代 表 者 森 信一



## 第79回全国都市問題会議 報告書

日 時：平成29年11月9日・10日

会 場：那覇市 沖縄県立武道館

参加者：森 信一、二木 孝之

報告者：二木 孝之

「ひとつがつなく都市の魅力と地域の創生戦略」をテーマに、全国市長会、後藤・安田記念東京都市研究所、日本都市センター、那覇市の主催により那覇市沖縄県立武道館で開催された。

1日目は、松浦正人・全国市長会会長からの開会挨拶、翁長沖縄県知事の代理出席者・副県知事等の挨拶に続き、東京大学史料編纂所教授・山本博文氏による「多様性のある江戸時代の都市」と題した基調講演の後、那覇市長・城間幹子氏が「ひとつなく まち 新しい風をつかむまちづくり」と題した主報告が行われた。一般報告では、首都大学東京大学院人文科学研究科准教授・山下祐介氏による「人口減少社会の実像と都市自治体の役割 人口とインフラの適正な持続的配置はいかに可能か？」について、北海道釧路市長・蝦名大也氏による「自然と都市が融合し共生が地域の価値を高めるまちづくり」について、琉球大学観光産業科学部長 教授・下地芳郎氏による「新たなステージに入った沖縄観光 複合的な魅力を有するハイブリットリゾートへ」と題して行われた。

主報告で示された那覇市の人口密度は、都道府県所在地では東京都新宿区、大阪市、横浜市に次いで4番目に高い都市であるとのことは私にとっては想定外であった。

今後ますます発展する可能性を秘めていることから、新しい風をつかみ、さらに追い風に変え、躍動感みなぎる那覇市のまちづくりをめざしていく考えが伝わってくる報告であった。

## 【第1日目】

### ○ 基調講演

山本博文 氏（東京大学史料編纂所教授）

### ○ 主報告

城間幹子 氏（沖縄県那覇市長）

### ○ 一般報告

山下祐介 氏（首都大学東京大学院人文科学研究科准教授）

蝦名大也 氏（北海道釧路市長）

下地芳郎 氏（琉球大学観光産業科学部長・教授）

## 【第2日目】

### ○ パネルディスカッション

〈コーディネーター〉

後藤春彦 氏（早稲田大学理工学術院教授）

〈パネリスト〉

能作克治 氏（株式会社 能作 代表取締役社長）

藤田とし子 氏（まちとひと 感動のデザイン研究所代表）

平田大一 氏（沖縄県文化芸術振興アドバイザー）

山岸正裕 氏（福井県勝山市長）

染谷絹代 氏（静岡県島田市長）



# 第12回全国市議会議長会研究フォーラム 森議員 旅費

期 間 平成29年11月15日(水)～16日(木)

会場 兵庫県 姫路市 姫路市文化センター

会議名 「第12回全国市議会議長会研究フォーラムin姫路 議会改革-議会基本条例10年」

日 付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金 額	備 考
11月15日	北芝久保	田無駅	はなバス	2.6	150	
	田無駅	高田馬場	西武新宿線	15.6	237	
	高田馬場	品川	JR山手線	13.3	9,830	JTBへ支払い
	品川	姫路	JR新幹線	637.5	5,610	指定席5,610円
	姫路駅南口	姫路市文化センター前	送迎バス	1.6	0	会場へ
	姫路市文化センター前	姫路駅南口	送迎バス	1.6	0	会場から宿舍へ
	1日目 合計				672.2	15,827
11月16日	姫路駅南口	姫路市文化センター前	送迎バス	1.6	0	
	姫路市文化センター前	姫路駅南口	送迎バス	1.6	0	
	姫路	品川	JR新幹線	637.5	9,830	
	品川	高田馬場	JR山手線	13.3	5,610	ひかり・指定席5,610円
	高田馬場	東伏見	西武新宿線	13.3	237	
	北芝久保	田無駅	はなバス	2.6	150	
	2日目 合計				669.9	15,827
<b>合計(距離・交通費)</b>				<b>1342.1</b>	<b>31,654</b>	(直行・直帰)
日 当	2,500 円 × 2 日				5,000	(議員)
食事料	夕食費 1,800 円 × 1 食				1,800	
宿泊費	(1泊朝食なし) 12,900 円 × 1 泊				12,900	JTBへ支払い
<b>旅費合計</b>					<b>51,354</b>	
参加費(負担金¥7,000・文化財活用事例視察¥10,000)					17,000	JTBへ支払い

16214

# 第12回全国市議会議長会研究フォーラム 二木議員 旅費

期 間 平成29年11月15日(水)～16日(木)

会 場 兵庫県 姫路市 姫路市文化センター

会議名 「第12回全国市議会議長会研究フォーラムin姫路 議会改革-議会基本条例10年」

日 付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金 額	備 考
11月15日	東伏見	天神山	西武バス	1	175	
	東伏見	高田馬場	西武新宿線	13.3	237	
	高田馬場	品川	JR山手線	13.3	9,830	JTBへ支払い
	品川	姫路	JR新幹線	637.5	5,610	指定席5,610円
	姫路駅南口	姫路市文化センター前	送迎バス	1.6	0	会場へ
	姫路市文化センター前	姫路駅南口	送迎バス	1.6	0	会場から宿舎へ
	1日目 合計				668.3	15,852
11月16日	姫路駅南口	姫路市文化センター前	送迎バス	1.6	0	
	姫路市文化センター前	姫路駅南口	送迎バス	1.6	0	
	姫路	品川	JR新幹線	637.5	9,830	
	品川	高田馬場	JR山手線	13.3	5,610	ひかり・指定席5,610円
	高田馬場	東伏見	西武新宿線	13.3	237	
	東伏見	天神山	西武バス	1	175	
	2日目 合計				668.3	15,852
<b>合 計 (距離・交通費)</b>				<b>1336.6</b>	<b>31,704</b>	(直行・直帰)
日 当	2,500 円 × 2 日				5,000	(議員)
食 事 料	夕食費	1,800 円 × 1 食			1,800	
宿 泊 費	(1泊朝食なし)	12,900 円 × 1 泊			12,900	JTBへ支払い
<b>旅 費 合 計</b>					<b>51,404</b>	
参加費 (負担金 ¥7,000・文化財活用事例視察 ¥10,000)					17,000	JTBへ支払い

10204



# 請求書

西東京市議会  
森 信一様

【第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路】

請求書番号： 2017-1797-06476

請求書発行日： 2017年10月23日



感動のそばに、いつも。

株式会社 J T B 西日本  
M I C E 事業部  
〒541-0058  
大阪市中央区南久宝寺町1丁目1番8号  
MPR本町ビル7階  
事業部長：田中 好明

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。  
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。  
11月9日 までに、お支払いいただきますようお願いいたします。  
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後  
お早めにご連絡をお願いいたします。

**¥38,860\***

番号	品名	金額	備考
1	旅行代金 (宿泊代金)	¥12,900	
2	旅行代金 (視察)	¥10,000	
3	旅行代金 (JR)	¥15,960	
	※振込の際は備考の個人受付番号を必ずご入力下さい。		個人受付番号：320-2
合計		¥38,860	
振込先 [ ] 銀行 [ ] 店 普通 株式会社 J T B 西日本 振込手数料は、お客様負担でお願い致します。		【お問合せ先】 株式会社 J T B 西日本 MICE事業部 TEL.: 06-6252-5044 担当者名： [ ]	



# 請求書

請求書番号： 2017-1797-06477

請求書発行日： 2017年10月23日



西東京市議会  
二木 孝之様

【第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路】

株式会社 JTB 西  
MICE 事業部  
〒541-0058  
大阪市中央区南久 3 丁目 1 番 8 号  
MPR 本町ビル 7 階  
事業部長：田中 好明

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。  
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。  
11月9日 までに、お支払いいただきますようお願いいたします。  
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後  
お早めにご連絡をお願いいたします。

¥38,860\*

番号	品名	金額	備考
1	旅行代金 (宿泊代金)	¥12,900	
2	旅行代金 (視察)	¥10,000	
3	旅行代金 (JR)	¥15,960	
	※振込の際は備考の個人受付番号を必ずご入力下さい。		個人受付番号：320-3
<b>合計</b>		<b>¥38,860</b>	
振込先 銀行 店 普通 株式会社 JTB 西日本 振込手数料は、お客様負担でお願い致します。		【お問合せ先】 株式会社 JTB 西日本 MICE 事業部 TEL：06-6252-5044 担当者名：	



様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 33,518 円
- 2 支 払 先 ななバス、西武バス、西武鉄道、JR、
- 3 件 名 第12回全国市議会議長会研究フォーラム  
(森・二木 交通費)
- 4 支払年月日 平成29年 11月15日～16日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 民進党西東京  
代 表 者 森 信一

印



第12回全国市議会議員会研究フォーラムin姫路 参加報告書

開催日 : 平成29年11月15日(水)・16日(木)

場所 : 姫路市文化センター

参加人数 : 2,008名(名簿記載議員数)

参加者 : 森 信一、二木 孝之

報告者 : 森 信一

タイムスケジュール

第1日目 11月15日(水)

13:00 開会式

13:20 第1部 基調講演

「議会改革の実績と議会力の向上 -政策創造の立法部を考える-」

中邨 章 明治大学名誉教授

14:40 第2部 パネルディスカッション

「議会改革をどう進めていくか」

コーディネーター 人羅 格 毎日新聞論説副委員長

パネリスト 新川 達郎 同志社大学大学院総合政策科学研究科  
政策科学部教授

大山 礼子 駒澤大学法学部教授

金井 利之 東京大学大学院法学政治学研究科教授

川西 忠信 姫路市議会議員

16:40 次期開催地挨拶 宇都宮市

16:50 終了

18:00 第3部 意見交換会〔会場:ホテル日航姫路〕

19:00 終了

第2日目 11月16日(木)

9:00 第4部 課題討議

「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」

コーディネーター 新川 達郎 同志社大学大学院総合政策科学研究科  
政策科学部教授

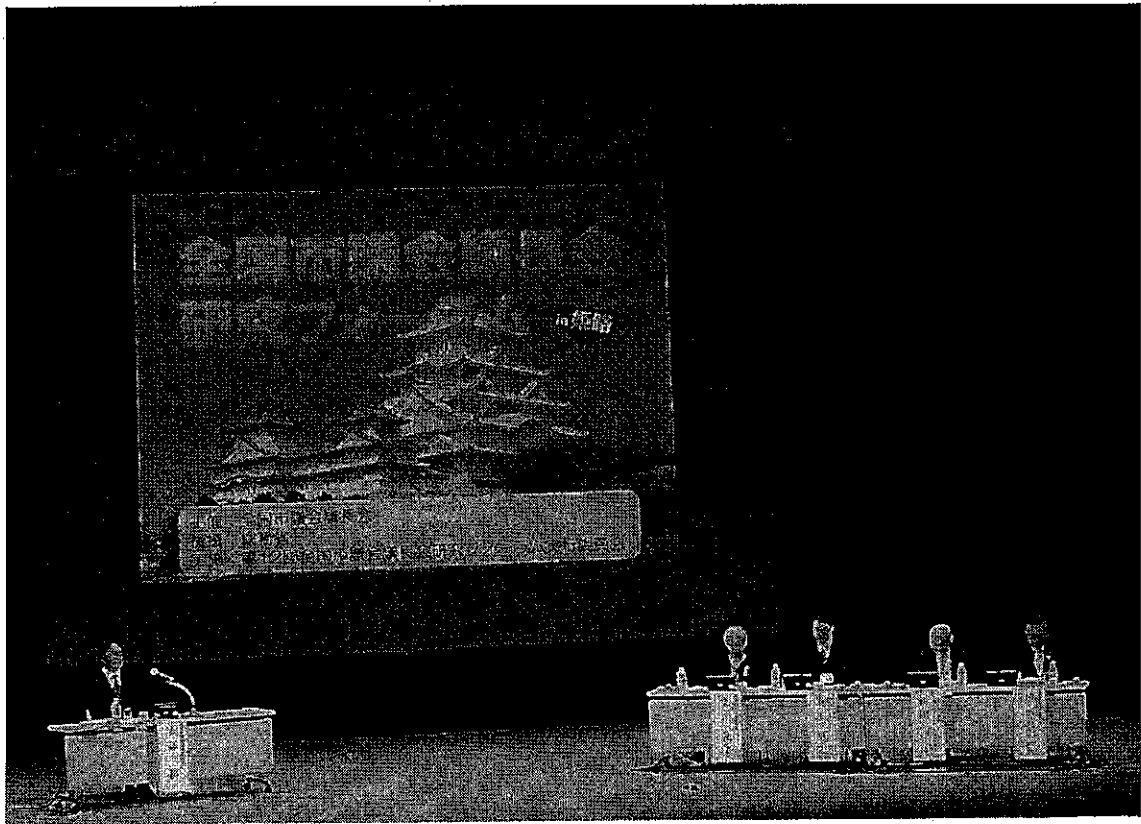
目黒 章三郎 会津若松市議会議員

豊田 政典 四日市市議会議員

盛 泰子 伊万里市議会前議長

11:00 閉会式

11:30 第5部 視察



## 第1部 基調講演

### 1. 変わる地方議員【議会基本条例の10年】

2006年6月に北海道栗山町で議会基本条例が作られ、同12月には三重県の県議会が議会基本条例を制定した。議会基本条例にしる、議会改革にしる、これはあくまでもスタートであり、今後は議会改革を基礎にしながら、いろいろ新しい問題に取り組まなくてはならない。

1つは后方支援であり、事務方のインフラ整備が必要。

2つ目は資料の充実、議会図書館の資料をもっと備えること。

3つ目は知見の蓄積、議員が他の自治体を視察して、知見を集めることが重要である。議会基本条例を作るプロセスの中で、議会人が議会について、「意識を新たに・認識を深め・知識を集めること」の三識が一番重要である。

議会基本条例が生まれた結果、議会報告会など議会活動は議会内部から表に飛び出すようになった。

議会基本条例以外に取り組んできた課題として、報酬と定数、厚生年金加入があるが、現状では、議員報酬が低く、議員生活を辞めた後の保障が一切ないなど、このままでは若い人で議員になろうという人材が出てこない。定数に関しては、住民と議員の関係がもっと近いものになるように大選挙区制という現行の制度を小さな単位を中心とした例えば小学校区といった小選挙区制に切りかえる必要があるように思える。

## 2. 改革から政策創造へ【直面する課題＝人口減少と地域振興】

実は人口が減少して一番問題となるのは経済開発よりも、むしろローカル・デモクラシーであり、地域民主性について大きな問題が出てくる。それは何故か、無投票当選が増える可能性があるからである。

2015年、統一地方選挙では市議会議員選挙の2.5%が無投票だった。これが町村議会になると圧倒的に無投票が増え、無投票は21.8%であった。

人口減少はデモクラシーにも大きな影響があり、むしろ、そちらの方が重要である。

## 3. 地方議会のこれから【防災と政策創造／政策チェック】

これまで防災に関しては、執行部は議会を無視してきた。防災に限っては、議会にはできるだけ関与させないというのが、執行部の状況であった。

選挙で住民から選ばれた議員は、当然防災にも責任がある。しかし、議員が議員個人として活動するのではなく、議会として組織を中心に活動すること、防災対策では議会として、組織化した行動をとることが必要である。

つづいて、地域防災計画の策定にも議会が積極的にかかわる必要がある。そのためには地方自治法第96条2項を援用し、地域防災計画を議決案件とし、議会で審議され、それが成案となるようにする。

## 4. 地方議会の政策展望【電子政府への試み／エストニアから学ぶ】

韓国、イスラエル、イギリス、ニュージーランド、エストニアをデジタル化の五大大国と呼んでいる。その中でもエストニアの場合、人口の94%（131万人）の人がマイナンバーを持っている。エストニアでは、選挙もマイナンバーを使って自宅でのインターネット投票をおこなっている。コンピューターは苦手という方は、これからは残念ながら絶滅種となる。

よって、ITを駆使できる議員、勉強する議員、族を目指す議員、昔を振り返らない議員になることはこの先の必須要件である。IT化を進めるような議会であってほしい。

## 第2部 パネルディスカッション「議会改革をどう進めていくか」

基本条例の役割や課題が10年たって出てきている。何を今、議会は変えていかなければならないのか、議会がどのように首長さんに対峙しながら制作活動を展開していくのか、それと、議員のなり手、人材についてどう考えていくかなどについて各パネラーが意見を述べた。

議会基本条例で共通して取り上げているのが、一問一答方式であるとか、反問権とかの審議方式の改革である。しかし、議事手続の改革は、住民にとっては残念ながらどうでもいい話で、議会基本条例で何が改革されているのか住民にはよくわからない。

議会報告会をやって、お願いして人を集め、とりあえず体裁を整えるだけで何のために何をやっているのかわからず、そのうちにみんなが疲れてしまい形骸化するという危険がある。

議会基本条例という具体的な目標を定めても、その先の目標を定めないと「仏作って魂入れず」というような状態になってしまう。

議会改革というのは結局、首長との権力闘争である。住民が政治に関心を持つのは権力闘争をしているときで、激しく争っているときにこそ、投票率も高くなるし、関心も高くなる。

議会が、多様な市民の意見を代表するには、多様な考え方を持つ議員が出てこなければならない。年齢、男女、地域構成、多様な意見、考え、市民の意見を持つ議員が一堂に介する、そこで本来のより良い議会、構成ということになる。

議員は名誉職であるから、ただで働けという考えでは議員のなり手不足は解消されない。要は労働条件が悪いブラック労働だから有効求人倍率が低くなっている。

#### 第4部 課題討議「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」

目黒 章三郎 会津若松市議会議長【市民意見を起点とした政策サイクルとその成果】

中学校の公民という教科書に、国会の議院内閣制と地方議会の二代表制が書かれているが、それを理解できていれば、地方議会における与党とか野党とかいう言葉遣いそのものが間違いだということはわかる。議会の取説ということで「見て知って参加するための手引書」を2016年9月に全戸配布した。

議会基本条例がある、なしにかかわらず、議長選挙で所信表明会をやったほうがよい、議長選挙での所信表明会は、開かれた議会の第一歩である。

タウンミーティング時の市民の声を政策化するための仕組みづくりとして、閉会中、ほぼ毎週、毎回二百数十名集まって討議している。そうしてまとめたものは市への政策提言、あるいは一般質問で質問している。こういった流れでまさに市民意見を起点とした議会としての政策作りをしている。

豊田 政典 四日市市議会議長【議会基本条例の制定への想い～議会のあるべき姿の実現に向けて～】

三重県議会が比較的先進議会でしたので、県議会の背中を追いかける形で改革を進めてきた。

比較的特徴のある取り組みとして、通年議会をやっている。通年議会のメリットはいくつかあるが、デメリットはゼロだと思っている。一年中、出るのではなく、年4回の定例議会以外にも議長が招集権を持つことにより、執行部に対していつでも議会は開けるぞという構えを持つことができる。

今後、実施する取り組みとして、市民意識アンケートを行い、議会全体に対する点数を付けていただき、市民の皆さんがどのように議会を受けとめているのか把握する。

高校生にも同じようなアンケートをやっていく。

盛 泰子 伊万里市議会前議長【議会基本条例を通して、地方自治を考える】

所信表明で「学ぶ機会づくり」と「伝える」ということを提案した。

議長が議会の今を語ることで、市民にとって少しでも身近な存在になるようにとの思いで、定例会の終了した翌月に、議長の定例記者会見を実施している。

議会基本条例は、二元代表制であることの確認の手段である。

大事なことは、条例を育てるという考え方、議員間討議を通して議会としての思いをしっかりと表わすこと、改革を後戻りさせないことが市民への約束である。

## 第5部 視察 姫路市／文化財活用事例視察

平成27年春に約50年ぶりとなる「平成の修理」を終えた世界文化遺産・姫路城を活用したまちづくりを視察。

### 〔姫路城〕

慶長年間に建てられ、日本独自の城郭建築の技術が最高潮に達した時期の最も完成された城と言われている。白漆喰で塗り込められた優美な姿は、飛び立つ白鷺に例えられ、白鷺城（はくろじょう）とも呼ばれている。昭和26年には国宝に指定、平成5年には世界文化遺産に登録された。

### 〔好古園〕

姫路城を借景にした約1万坪の本格的な日本庭園。池泉回遊式の「御屋敷の庭」や本格的数寄屋建築の茶室のある「茶の庭」など9つの庭園群で構成され、江戸の情緒を醸し出すその佇まいはドラマ・映画のロケ地としても使われている。

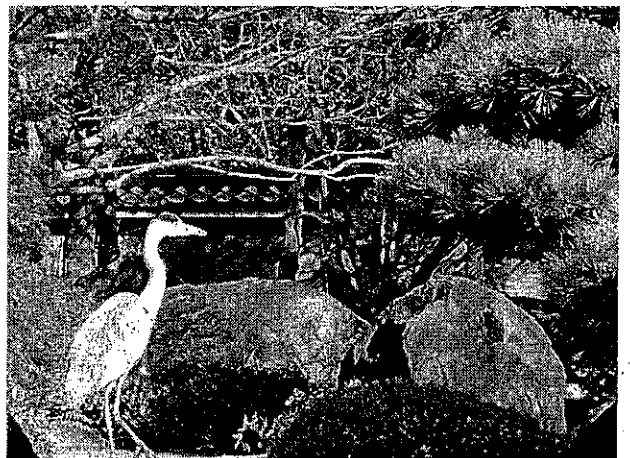
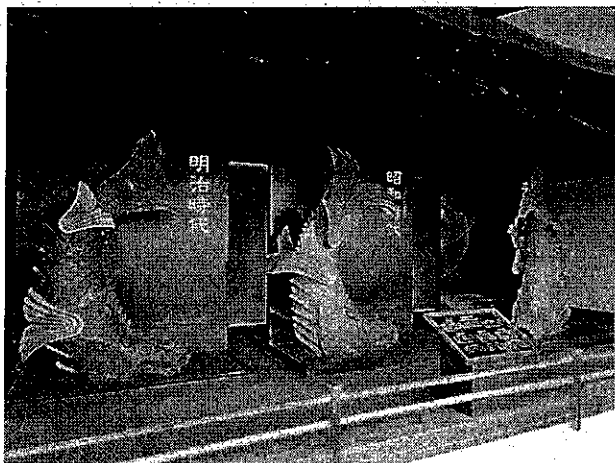
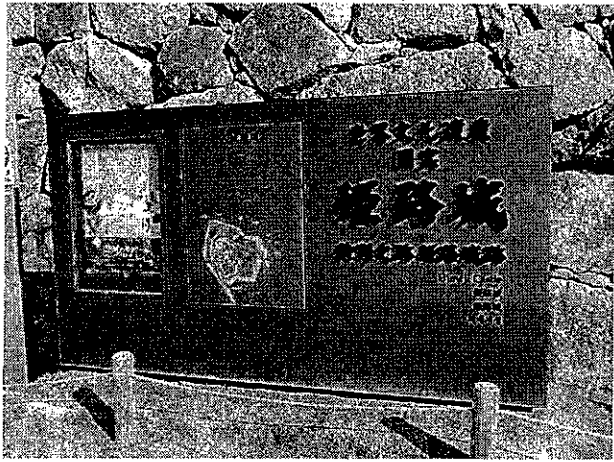
## 感想

先進市が議会基本条例を制定するまでに検討してきた課題や制定後の課題を学ぶことができた。

議会基本条例は、議会が市民とどう向き合うか、また、議会でやっていることを市民へ分かりやすく伝えること、市民に議会をより身近に感じてもらうこと、市民の意見を聞かせてもらい、それをどのように市政に反映させるかが重要であると理解した。

地方議会は二元代表制であることを市民に改めて示し、政策によっては首長と対峙する姿勢を表わすことで市民の政治に対する関心も深まり、それにより投票率を上げる事もできる。

私も、市民から負託を受けた議員の一人として、その責務を背負って議会へ対する市民意識に注視しながら、今後さらなる努力をしていきたいと思う。



# 領収書添付用紙

経費項目 \*該当費目に○をつけてください。

整理番号 4

調査研修費		【内容説明欄】 東京都・東京都議会主催 2020オリ・パラ シンポジウム参加 (会場:ベルサール東京日本橋)
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】 ※ 交通費=支払証明書添付のとおり		

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 2,378 円
- 2 支 払 先 はなバス、西武バス、西武鉄道、東京メトロ東西線
- 3 件 名 森・二木 東京都・東京都議会主催  
2020オリ・パラ シンポジウム参加 (交通費)
- 4 支払年月日 平成29年 11月 27日

上記のとおり支払したことを証明します。

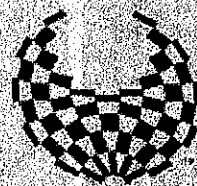
会 派 名 民進党西東京  
代 表 者 森 信一







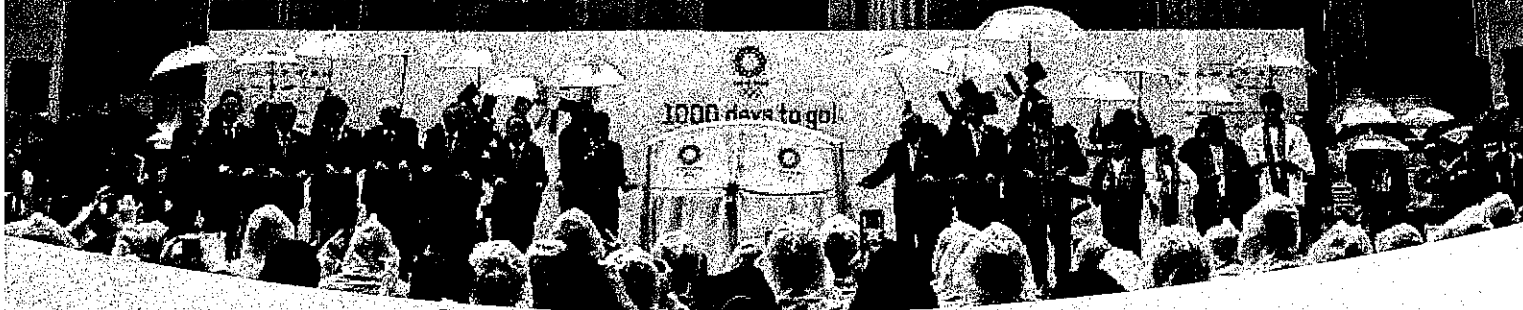
TOKYO 2020



TOKYO 2020  
PARALYMPIC GAMES



全国の地方議会議員及び地方自治体職員等対象



# 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたシンポジウム 2020年に向けて日本全国みんなで盛り上がりましょう

テーマ：パラリンピックを契機とした障害者スポーツの理解促進に向けたアイデア

日時

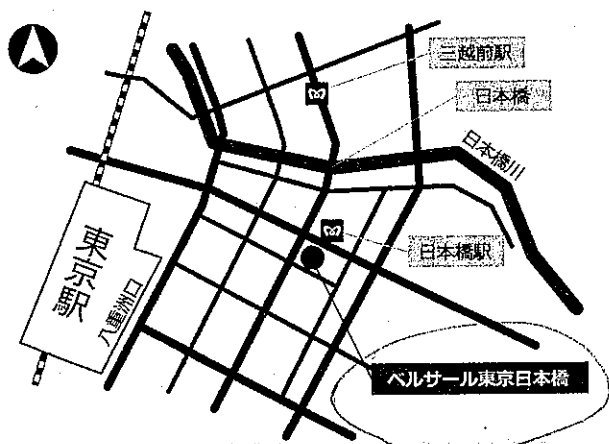
平成 29 年 **11 月 27 日** (月)  
14:00 ~ 17:30 (受付開始 13:00)

会場

ベルサール東京日本橋  
東京都中央区日本橋二丁目 7 番 1 号  
東京日本橋タワー地下 2 階

アクセス

「日本橋駅」B6 番出口直結 (銀座線・東西線・浅草線)  
「東京駅」八重洲北口徒歩 6 分  
「三越前駅」B6 出口徒歩 3 分 (銀座線・半蔵門線)



12-56 田舎  
馬場  
日本橋  
公認プログラム  
オールジャパン  
12-46 17:30



1000 Days to Go!

主催

東京都・東京都議会

協力

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック  
競技大会組織委員会

後援

全国知事会・全国市長会・全国町村会・  
全国都道府県議会議長会・  
全国市議会議長会・全国町村議会議長会

事務局

東京都文京区本郷 1-19-6 田中水道橋ビル 4 階 (ジェイレック)  
TEL. 03-4214-8379 (平日 10:00 ~ 17:00)  
FAX. 03-4582-3547  
E-mail. tokyo1127@j-rec1986.co.jp

車椅子利用者や聴覚障害者用に手話通訳や専用席をご用意しておりますのでお気軽にご参加ください